

# 公益社団法人 日本天文学会理事会議事録

日 時：2019年12月27日（金） 13時00分～15時00分

場 所：国立天文台 大会議室（東京都三鷹市大沢 2-21-1）

出席理事：梅村、寺田（馬場）、鈴木、伊王野、鹿野、早野、長瀧（zoom参加）、酒井、富田、田村（陽）、久野、佐藤（文）

欠席理事：田村（元）、松田、小出、浅田、山村

出席監事：関井、大石

また、河野選挙管理委員会委員長、土居天文教育普及賞選考委員長、佐藤事務長、黒岩事務長補佐、田口谷事務長補佐が出席した。

## I. 確認事項など

I-1. 議事に先立ち、出席者が12名で定足数を満たし、本会が成立することが確認された。

I-2. 前回議事録の確認

資料2に基づき、前回（2019年9月11日）の理事会議事録が報告され、承認された。

## II. 議題

II-1. 新規加入者および移籍（準→正）の承認（資料3、伊王野）

2019年8月31日～2019年12月23日までに正会員入会申請83名、準会員入会申請20名、移籍（準→正）2名の申請があり、賛成多数で承認された。

II-2. 公益社団法人日本天文学会 2020年度事業計画の承認（資料4、鈴木建）

2020年度事業計画案が提示された。概ね例年通りである。監事の任期についての記述を修正した上で本案を次の代議員総会に提案することが賛成多数で承認された。また、委員会の数が多くなっていることが指摘された。次年度の事業計画策定の際にはそれぞれの委員会の目的を再検討し、統合できるものは統合し、密度の高い運営を進められるよう検討することとした。

II-3. 公益社団法人日本天文学会 2020年度予算案の承認（資料5、鹿野）

2020年度予算案が提示された。正会員の会費免除が終了するため増収が見込まれるが、本年度は災害が多かったこともあり、災害救助法適用に伴う会費免除制度を利用する会員が増えることが予想され、その分の減額も織り込まれている。他は概ね例年通りである。本案を次の代議員総会に提案することが賛成多数で承認された。

II-4. 定款の変更について（資料6、鈴木建）

名誉会員の定款の第2項を誤解のない表現に変更することが提案された。本案を次の代議員総会に提案することが賛成多数で承認された。

II-5. PASJ 編集委員の交代について (資料 7、長瀧/鈴木建)

固武 慶委員の後任として滝脇 知也氏が推薦され、賛成多数で承認された。

II-6. その他

欧文研究報告論文賞への関心を高めるための試みとして、秋季年会で 10-15 分程度の講演を受賞者にしてもらうことが提案された。次の代議員総会で提案することが賛成多数で承認された。また、今後、委員会間の協力を促進させ、関連性の強い委員会は協力してもらうことが確認された。今期においては、教育委員会と教材委員会が協力して事業を展開することとなっている。

III. 報告

III-1. 移籍・退会等の報告 (資料 3、伊王野)

2019 年 8 月 31 日～2019 年 12 月 23 日までに正→準の移籍申請 2 名、正会員退会 1 名、準会員退会 5 名の報告があった。

III-2. 天文教育普及賞の推薦について (資料 6、土居)

9 月末に 2019 年度天文教育普及賞の締め切りがあり、10 月 8 日に選考委員会が開催され受賞対象が決定した。また、来年度から選考委員を 6 名に減らすことが報告された。

III-3. 天文月報編集委員会からの報告 (資料 6、鈴木建)

活動状況や今後予定されている特集・シリーズについての報告があった。

III-4. PASJ 編集委員会からの報告 (資料 7、長瀧)

12 月 9 日に開催された編集顧問・編集委員会議において、紙版の廃止、掲載料の軽減、電子版の新機能追加、論文キーワードの更新などについて議論された。

III-5. 日本天文遺産の推薦について (資料 8、鈴木建)

第 2 回日本天文遺産の受賞候補の現地調査および所有者・管理者の意向確認が問題なく進み、次の代議員総会で候補として推薦することが決定した。

III-6. 選挙管理委員会からの報告 (資料 9、河野)

12 月 9 日に締め切られた代議員選挙の開票が 12 月 10 日に行われた。本年度から電子投票システムを導入したが、特段大きな問題はなく作業が進行した。来年度も継続して本システムを使用する予定である。

III-7. ネットワーク委員会からの報告 (資料 10、田村陽一)

新ホームページの進捗状況などが報告された。12 月までに、仕様書作成から企画競争入札応募の開始まで実施した。今年度中に契約を進め 6 月納品を予定している。

III-8. 天文教育員会からの報告 (資料 11、富田)

天文教育フォーラム、講師紹介プログラムの近況、監修者紹介プログラムの進捗、および天文教材委員会との連携の状況についての報告がされた。

III-9. インターネット天文学辞典編集委員会からの報告 (資料 12、鈴木建)

インターネット天文学辞典の利用状況および機能追加について、編集委員の増員、2020年春季年会で予定されている会合、制作会議に関する報告があった。

III-10. 今後の年会進捗状況報告（資料13、久野）

2020年春季年会の準備の進捗状況が報告された。

III-11. 熊本大学年会開催地理事からの報告・提言（資料14、鈴木建）

2019年9月11日-13日に熊本大学で開催された秋季年会の報告があった。特に大きな問題はなかったが、会場への交通手段および助成金の扱いについての心配点が挙げられた。

III-12. 事業担当理事の近況

年会(酒井)：12月3日に春季年会の講演の応募締め切りがあった。スタッフが少ない大学は特にサポートが必要であることが指摘された。また、開催地の負担軽減や会員サービス向上のために参加費を増額することを検討しても良いのではないかという意見があがった。

庶務(鈴木建)：年会開催地の依頼状況についての報告があった。

III-13. 事務所の近況報告：特になし。

III-14. その他

- ・スターリンクの記事が月報に掲載されることが報告された。
- ・ヘリウム危機への対応として、12月に物理学会が主導した記者発表に日本天文学会として参加したことが報告された。
- ・天文学振興財団の賞（古在賞・吉田賞）を創設する計画があり、天文学会の協賛を求められている。委員の推薦の議論をしていることが報告された。
- ・代議員1名より、代議員総会にて、国立天文台の防衛装備庁の研究費応募に関する対応の状況について、国立天文台のどなたかに説明して頂き、議論する時間を設定して頂きたいとの要望があったが、理事会での議論の結果、日本天文学会は公益社団法人として、特定の研究組織に対して、防衛装備庁の研究費応募に関し、要望や提言を行う立場にはないことを確認した。

[資料リスト]

資料1 理事会出欠表

資料2 公益社団法人日本天文学会理事会（2019年9月11日）議事録（案）

資料3 加入者の承認。移籍の承認・報告、退会の報告

資料4 公益社団法人日本天文学会 2020年度事業計画案

資料5 収支予算書案

資料6 名誉会員の定款の改定、各委員会報告事項

資料7 PASJ 編集委員会からの議題と報告

資料8 日本天文遺産選考委員会活動報告

資料9 第6期日本天文学会代議員選挙 開票結果報告

- 資料 10 ネットワーク委員会活動報告
- 資料 11 天文教育委員会活動報告
- 資料 12 インターネット天文学辞典編集委員会活動報告
- 資料 13 2020 年春季年会進捗状況報告
- 資料 14 開催地理事報告

2019 年 12 月 27 日

会 長：梅村 雅之 印

副会長：寺田(馬場) 彩 印

監 事：大石 雅寿 印

監 事：関井 隆 印